

富山県医療計画（令和6年3月改訂版）に対する主な意見と対応

ご意見の内容	計画案への反映等	ページ
第1章 総論		
第3節 計画の基本目標		
<p>人口減少 超高齢化 を踏まえ た今後の 展望</p>	<p>・医療 DX について、計画の基本目標に インフレーズでも入れて欲しい。（医療審議 会／対策協議会）</p> <p>下記部を追加 ・医療機能の役割分担と連携強化、医療資源の集約化、 重点化、さらには医療 DX（デジタルトランスフォーメ ーション）の活用を進めることも不可欠であると考え られます。</p>	25
第2章 基本計画		
第1節 質の高い医療の提供		
1 医療連携体制の推進		
<p>公的病院 の機能充 実</p>	<p>・富山大学の記載内容が「・・・充実が期待 されます」とあるのを修正していただき たい。（医療審議会／対策協議会）</p> <p>下記のとおり修正 ・県内唯一の特定機能病院、教育研究機関として、高 度・先進医療の提供や高度医療技術の開発・評価及び 医療従事者の育成・供給など大きな役割を担っていま す。今後さらに、高度救急医療、災害医療、感染症医 療、小児医療および周産期医療などで高度医療および 地域医療の要となる役割を果たし、県内唯一のがんゲ ノム医療拠点病院としてがん医療をリードする役割な どを果たしていきます。</p>	31

ご意見の内容	計画案への反映等	ページ
<p>がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「成人のがんとは異なる対策が求められています。」とあります。その対策の1つは妊孕性温存療法だと思います。対応をご検討下さい。(パブリックコメント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・原案通り記載 <ul style="list-style-type: none"> 国の基準を満たす妊孕性温存療法の医療機関が県内にない状況であり、妊孕性温存療法の助成申請をする場合には、県外の指定医療機関で妊孕性温存療法を受ける必要があります。県内の指定医療機関となりうる医療機関と引き続き連携しながら、指定医療機関が設置されるように取り組みます。 	39
<ul style="list-style-type: none"> ・P42「医療機関の例」の中ではあらゆる癌種で「摘出術と化学療法」しか記載がありません。放射線治療の追記をご検討いただければ幸いです。(パブリックコメント) 	<ul style="list-style-type: none"> 下線部を追加及び修正 <ul style="list-style-type: none"> ・(肺がん)～(子宮がん) ◇ ……<u>化学療法(、放射線療法)</u>に対応可能な病院・診療所 	42
<p>救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・#7119について記載いただきたい。(医療審議会/対策協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 下記のとおり記載 <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の重篤度や救急車要請の必要性に迷った場合、迅速かつ適切な医療機関(救急外来)受診の選択ができるよう、救急安心センター事業(救急医療電話相談事業 #7119)を実施します。 	136
<ul style="list-style-type: none"> ・「下り搬送」についてリードできるような体制を作る必要がある。その点を盛り込んだ方が良い。(医療審議会/対策協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 原案通り記載 <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の内容は重要な提起であり、引き続き、スムーズに療養を提供する医療機関や介護施設等に移行する体制を充実することが重要であると認識しております。 	137

災害医療

P160 に災害医療の主な課題と施策として、地震や台風等による風水害の影響による大規模停電や、ガス、水道の供給停止等に対し、十分に備えることが必要とありますが、具体的対策が不明瞭ではないでしょうか。

年始の能登半島地震では特に停電、断水、通信不通が大きな問題となっています。現在の非常用発電機以外の予備電源を配置して電源セキュリティを高めることが停電、断水、通信不通の対策として重要だと思います。これらの対策を検討されてはどうでしょうか。(パブリックコメント)

原案通り記載

・医療機関には、施設の耐震化や非常用自家発電機の整備、燃料の備蓄等を含めた総合的な防災対策を講じるよう働きかけるとともに、必要な支援に努めることとしております。

また、災害時において必要な医療機能を発揮できるよう、通常時の6割程度の発電容量のある自家発電機を保有し、3日分程度の備蓄燃料を確保していること、また、適切な容量の受水槽や井戸設備の整備、優先的な給水協定の締結等により、少なくとも3日分の水を確保することとされており、県内の災害拠点病院については、全て、必要な要件を満たしているところです。

今後とも、平時から十分に災害に備えるとともに、関係機関による強固な連携体制の構築に努めてまいります。

158

今回の地震を経験し、医療依存度の高い方（医ケア児等）の避難所について改めて、喫緊の課題であると認識しました。拠点となる病院に患者をどのくらいなら受け入れ可能か等は市町村や厚生センター、医療圏ごとに考えて行かなければいけないと思いますので、災害について触れている章で、一文入れることは難しいでしょうか。(市町村等)

原案通り記載

厚生センターでは、災害発生時における難病や小児慢性特定疾病等在宅で人工呼吸器や在宅酸素を使用している患者の避難に備え、電源バッテリーや酸素ポンベの確保、緊急入院の受け入れ病院や搬送手段の検討など、医療機関や医療機器販売業者・消防等関係機関と連携して、具体的な支援方法について検討するとともに、その内容を市町村に情報提供するよう努めています。

159

ご意見の内容	計画案への反映等	ページ
<p>在宅医療 ・在宅医療について、病院から退院して、すぐにかかりつけ医の先生が対応するのは難しい。なので、地域の在宅医療にかかるかかりつけ医機能全体を考えるための集まり、あるいは在宅療養支援をするチームのような取組を盛り込んでほしい。(医療審議会／対策協議会)</p>	<p>原案通り記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8次医療計画において「在宅医療において積極的な役割を担う医療機関」、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」を定めたところであり、地域ごとに今後それらの施設と連携を取りながら在宅医療を強化していく予定としております。 	233
<ul style="list-style-type: none"> ・急性期がメインの病院において、回復期の病床が減少しており、その影響で自宅へ帰っている人が多い。その中でリハビリが重要となり、訪問看護師も生活でのリハビリに取り組むことができるため、医療計画中にもう少し入れて欲しい。(医療審議会／対策協議会) 	<p>下記の通り文言修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養を支える医療・介護関係者とリハビリ専門職が連携した、切れ目のない効果的なりハビリテーションの提供に向けた研修会等を実施します。 	239
<p>2 医療安全と医療サービスの向上</p>		
<p>医療情報の共有化 ・マイナンバーカードについて記載いただきたい。(医療審議会／対策協議会)</p>	<p>下記の通り記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードによるオンライン資格認証等システムの導入や電子処方箋管理サービスを促進するとともに、・・・中略・・・医療DXの推進に努めます。 ・マイナンバーカードの保険証利用については、患者の方が同意された場合、・・・中略・・・、トラブルの防止や本県における取組みの進捗状況等に十分配慮しつつ、保険者等と連携して、マイナンバーカードの保険証利用促進に向けた普及啓発に努めます。 	257

